

# 令和3年度事業報告書

特定非営利活動法人 高次脳機能障がい者活動センター調布ドリーム

## 1 事業の成果

### 1.自立生活訓練事業

2021年度はコロナ禍における活動も2年目となり、感染予防対策（検温・手洗い・手指消毒・マスクの徹底）が利用者・職員間で定着し、事業所内で感染者が出る事なく運営することができた。

#### ①個別支援強化

- ・利用者各々の目的、必要な訓練に合わせた課題を中心に提供を行う。  
言語聴覚士と相談しながら提供した失語症利用者への個別課題では、利用者本人の意欲を引き出しました、自信となっている。（書字や歌を用いたトレーニング）
- ・帰宅の順路や社会資源の利用の訓練
- ・利用者宅に訪問する事で、ニーズに合った支援を行う。
- ・復職・就労に向けての書類作成、ハローワークへ同行、ハローワーク担当者へ障害特性を伝達等。
- ・個別支援強化の為に多職種連携と情報交換に努めた。

#### ②就労支援において、体験活動の導入

- ・就労継続支援B型事業と連携し、共に作業を共に行う。  
ポスティング作業・・・配布量、配布エリア、配布時間を個別または、グループで考え、実施する。  
ネット販売商品梱包作業・・・商品の見栄え、購入者が手にした時の気持ちを考え丁寧な作業を目標に取り組む。  
封入作業・・・作業に必要な評価となっている。
- ・室内、駅前での掃除・・・役割を持つことへの意識を養う。

※今年度は、特に体力維持・向上を目的としたプログラムにも強化した。

#### ③就労とその後のサポート

- ・就労準備  
履歴書等の作成、面接準備、求人募集を探す、応募のサポート、作業能力評価、東京都障害者職業センター同行し評価に基づき訓練を進める。
- ・就労後のサポート  
就労定着支援事業との情報共有及び連携、就労先へ本人の障害特性の情報提供  
また、就労後のOBに対する心理面のサポート。

### 2.就労継続支援B型事業所

2021年度はコロナ禍における活動も2年目となり、感染予防対策（検温・手洗い・手指消毒・マスクの徹底）が利用者・職員間で定着し、事業所内で感染者が出る事なく運営することができた。

#### ①利用者の工賃向上につながる活動の拡充

- ・サンクスカードの作業では、小さなカードに細かい字で書ける利用者が少なく、継続ができなかった。
- ・調布市役所からの封入作業では、慣れない事もあり、ミスが出てしまったが、職員皆で振り返り、次の作業では、作業能力別に分業する事で、ミスなく終える事ができた。
- ・ポスティング作業 ・大関ネット、通販の梱包

一昨年度はコロナの為に稼働日数も制限されたが（売上3万円）、今年度は16万円の売り上げとなった。

#### ②リサイクルショップ『夢市』の活用

- ・リサイクルショップ『夢市』利用の割引券を配布、配布した10%の客の利用があった。
- ・『夢市』の売り上げ自体はあまり伸びなかった。今後、更なる工夫が必要であると考えている。

#### ③就労支援B型から就労につながった利用者の継続支援。

- ・就労後、半年間を主に連絡をとり本人の状況を把握していく。

就労定着支援事業所と連携を取り、必要な支援を行う。

また、家族から依頼も受けた内容に対し、本人の心情を聴き、家族に伝達し、家族間の問題を解決する。

※ 今年度は支援終了者が再契約となる（コロナの影響での失業により1名・定年退職後の就労希望1名）

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 52141 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス	<p>&lt;自立支援・生活訓練&gt; 自立した日常生活・就労・復職等を目的とし、体力作り、認知機能トレーニング、社会資源の活用方法等、また、就労へのサポートなど、社会復帰に必要な訓練を集団の中での訓練、更に個別に必要な支援を行う。</p>	毎月の予定表に基づく	当事業所	637人 (2.6人×245日)	高次脳機能障害者	2478人 (10.11人×245日)	52141
	<p>&lt;就労継続支援B型事業&gt; 作業を通し、個々の能力を引き出し、仲間との協調性を養う。就労を希望する者に、作業能力の向上を目的とした個別の課題を提供。ハローワーク、就労移行支援事業につなぎ、共にサポートをしていく。また、障害の程度により、就労が難しい者に対しての社会参加の場、また、生きがいや意欲となる活動を提供している。</p>		当事業所	833人 (3.4人×245日)	高次脳機能障害者	2010人 (8.2人×245人)	
	<p>合同実施事項 調布市補助金を受け、PCR検査実施 (6月・10月・2月)</p>	1週間で行う	当事業所	37人	利用者 職員 ボランティア	166人 (37人)	
高次脳機能障害者とその家族への相談及び生活支援事業	電話及び来所者に対する相談及び支援	随時	当事業所	1人 (サービス管理責任者)	当事業所に関心のある都民	15~20人 ずつ 家族43世帯	
	福祉関係者見学対応						
	<p>家族会の運営 家族会代表：山田伸子氏</p>						
高次脳機能障害に関する普及啓発活動	<p>広報誌『ドリームごよみ』の発行、関係機関に郵送 ネット配信、ホームページの更新</p>	年4回程度	市役所 福祉センター	7人	調布市民及び、関心のある都民	不特定多数	

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)